



「ヨハネ9：1-3 さて、イエスは通りすがりに、生まれたときから目の見えない人をご覧になった。弟子たちはイエスに尋ねた。『先生。この人が盲目で生まれたのは、だれが罪を犯したからですか。この人ですか。両親ですか。』イエスは答えられた。『この人が罪を犯したのでもなく、両親でもありません。この人に神のわざが現れるためです。』」

神のわざが現れるため

レーナ・マリアさん

ゴスペルシンガーとして世界中で活躍されているレーナ・マリアさんは、生まれつき両腕が^{りょううで}なく、左足が右足の半分の長さしかないという障害を持って生まれました。子どもの頃から水泳で活躍し、高校から大学にかけては音楽を学んでゴスペル・シンガーとして本格的に活動を始めました。日本にも何度も訪れています。二度ほどコンサートで彼女の美しい歌声を聴いたことがありますが、彼女の明るい笑顔は障害を全く感じさせません。彼女は、「(両親が)神様はわたしを愛してくださっていることや、わたしには神様の特別のご計画がおありになるから、他の人と違う形に造られたのだ、ということをお話してくれました。ですから、わたしは、この特別の体を神様のために使っていただき

たいと思っています。」と話しています。彼女の明るく前向きな生き方は、世界中の人に生きる勇気と希望を与えています。

生まれつき盲目の人

イエス様は、弟子たちとともに歩いておられるときに、生まれたときから目の見えない人に目を留められました。彼は道で物乞いをしていました。弟子たちは「この人が盲目で生まれたのは、だれが罪を犯したからですか。この人ですか。両親ですか。」とイエス様に質問しました。当時は、病の原因は罪だと考えられていました。そのため弟子たちはこのように尋ねたのでした。彼は生まれた時から人々から罪ある者と見られて^{さげす}蔑まれ、大人になっても物乞いをするしか生きる手段もなく、^{つら}辛い人生を生きてきたことでしょう。しかしイエス様は彼に目を留められました。彼のためにわざわざ立ち止まってくださったのです。神様は、私たち一人一人の事情を知っておられ、あわれみをもって立ち止まってくださる方です。

神のわざが現れるため

弟子たちの質問に対してイエス様は、「この人が罪を犯したのでもなく、両親でもありません。この人に神のわざが現れるためです。」と言われました。弟子たちは、彼の病の「原因」が知り

たいと思ったのですが、イエス様は、彼の病の「目的」を言われました。「神のわざ」は言うまでもなく、生まれつき目の見えない彼が見えるようになることです。

イエス様は、地面につばをして、そのつばで泥を作られて、その泥を彼の目に塗られました。そして、「行って、シロアム(訳すと、遣わされた者)の池で洗いなさい。(ヨハネ9：7)」と言われました。イエス様はたくさんの病人をいやされましたが、一つとして同じ方法を用いられませんでした。このときはこの不思議な方法を彼に指示されました。彼は言われた通りに、すぐにシロアムの池に行き、イエス様が目に塗られた泥を洗いました。すると彼は見えるようになり、帰っていきました。人々は彼を見て、「これは座って物乞いをしていた人ではないか。(同9：8)」と驚きました。彼の目は完全にいやされました。

神に目を留める

私たちは何か困難がやってくると、「なぜこんなことが私に起こるのか」と苦しみの原因を探ろうとします。そうした中で、「自分はなんて不幸なんだ」と自己憐憫に陥ったり、「親が自分をこんなふう^{れんびん}に育てたからだ」などと周りの人や環境のせいにして、立ち止まってしまうことがあります。旧約聖書に出て

くるヨブは、神様の試みにあって財産も子どもたちもすべてを失くし、自らも病に陥ったとき「私はこんな目にあうような罪は一つも犯していない。」と言い張りしました。そんなヨブを神様は、

「知識もなしに言い分を述べて、摂理を暗くするこの者はだれか。(ヨブ38：2)」と諭しました。神様は主権をもって、なさりたいことを成し遂げられるお方です。私たちの人間的な知識や理解力では、神様の計り知れないご計画を知ることは到底できません。

イエス様が言われた「この人に神のわざが現れるため」というみことばは、私たちにとって大きな励ましです。私たちに起こるさまざまな困難は、神様のわざが現れるためだとわかれば、困難の中でも希望を失うことはありません。神のわざは、私たちに神様の祝福のご計画が実現することです。ですから病はいやされるために、経済の困窮は満たされるために、人間関係の問題はその相手を愛するようになるために起こります。私たちが救われたのも、多くは困難がきっかけでした。ですから困難にあうとき、私たちはその原因にではなく、その中でわざを現してくださる神様に目を留め、信頼して歩んで参りましょう。(鈴木千史)